

授業科目名	【G】 【EF】	教養演習Ⅰ・Ⅱ 教養演習Ⅰ・Ⅱ	区分 選択必修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	「世界遺産」とは何か			担当者	小松 伸之		
授業概要	【概要】	本講座では、世界を代表する文化遺産及び自然遺産とされる「世界遺産」に着目し、国内外の登録物件の特徴や取り巻く環境などについて学んでいく。必要に応じて中学や高校で学んだ日本史・世界史などの知識も確認しながら、個々の物件の背景にも迫る。そして、学習の成果を踏まえて調査・発表を求めるほか、希望者は学習の到達度をはかる尺度として「世界遺産検定」にチャレンジする。教員採用試験の専門教養や公務員試験の一般教養への対策としても積極的に活用してほしい。					
	【到達目標】	<input type="checkbox"/> 世界遺産登録物件の特徴や歴史的背景などについて理解を深めることができる。 <input type="checkbox"/> 学習内容をもとにテーマを設定して調査・発表を行うことができる。					
履修条件	社会科教員を目指している者、もしくは世界遺産に関心がある者						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	— (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	— (当てはまらない)					
他科目との関連性	歴史学関連科目(日本史概論など)、地理学関連科目(地理学概論など)						
教科書	・世界遺産アカデミー監修『きほんを学ぶ世界遺産100(第2版)』(マイナビ、2019年) ・世界遺産アカデミー監修『くわしく学ぶ世界遺産300(第3版)』(マイナビ、2019年)						
参考書	・世界遺産アカデミー監修『すべてがわかる 世界遺産大事典 上・下(第2版)』(マイナビ、2020年)						
評価方法	試験(40%)、発表(30%)、ワークシート(30%) ※出席は評価の前提条件となる。受講者には授業への積極的な参加を求める。						
フィードバック方法	課題やレポートへのコメント、発表へのコメント						
評価基準	授業に積極的に参加して、内容についてよく理解したうえで学習・発表に取り組んだ者はその程度により「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とする。授業への参加度が低く、理解が著しく不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とし、6回以上欠席するなど判定不能な者は「F」とする。						
その他	特になし ※Gカリ:【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】 / EFカリ:選択必修(y)						

授 業	【 G 】 教養演習 I ・ II	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【 EF 】 教養演習 I ・ II	選 択 必 修		【 EF 】 2		【 EF 】 2
授業内容	<p>1. 世界遺産についての学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産とは何か(概要・登録条件など) ・国内外の文化遺産と歴史的背景 ・国内外の自然遺産と地理的特徴 ・時事問題としての世界遺産(新規登録物件や登録に向けた動きなど) <p>2. 調査・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に基づく調査・発表 <p>3. 世界遺産検定の受検(希望者対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通じた知識の確認・定着 					
予習内容	<p>テキストの精読(範囲は授業時に指示)</p> <p>予習は、各120分程度を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>授業内容の振り返り、配布プリントの演習</p> <p>復習は、各120分程度を目安としてください。</p>					